

平成25年度 福知山市予算編成方針の ポイント



平成24年10月
福知山市

目 次

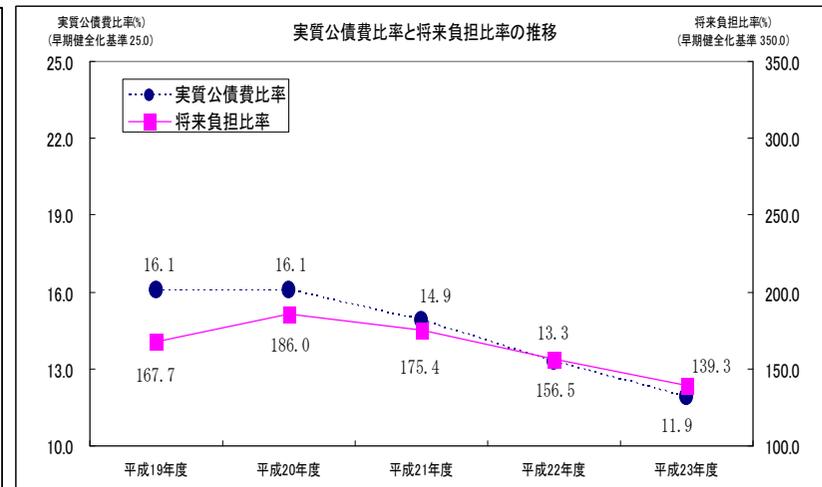
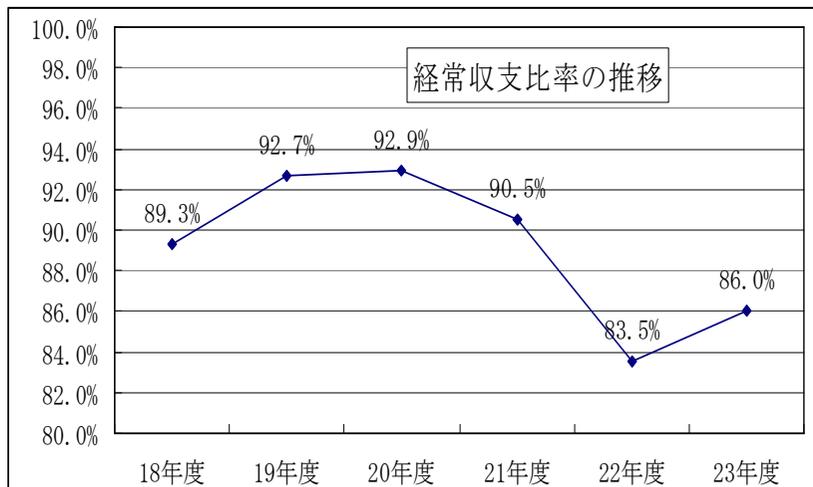
- 1 本市の財政状況
- 2 中期財政見通し
- 3 予算編成の基本的な考え方

1 本市の財政状況

平成23年度決算

*〔 〕は平成22年度

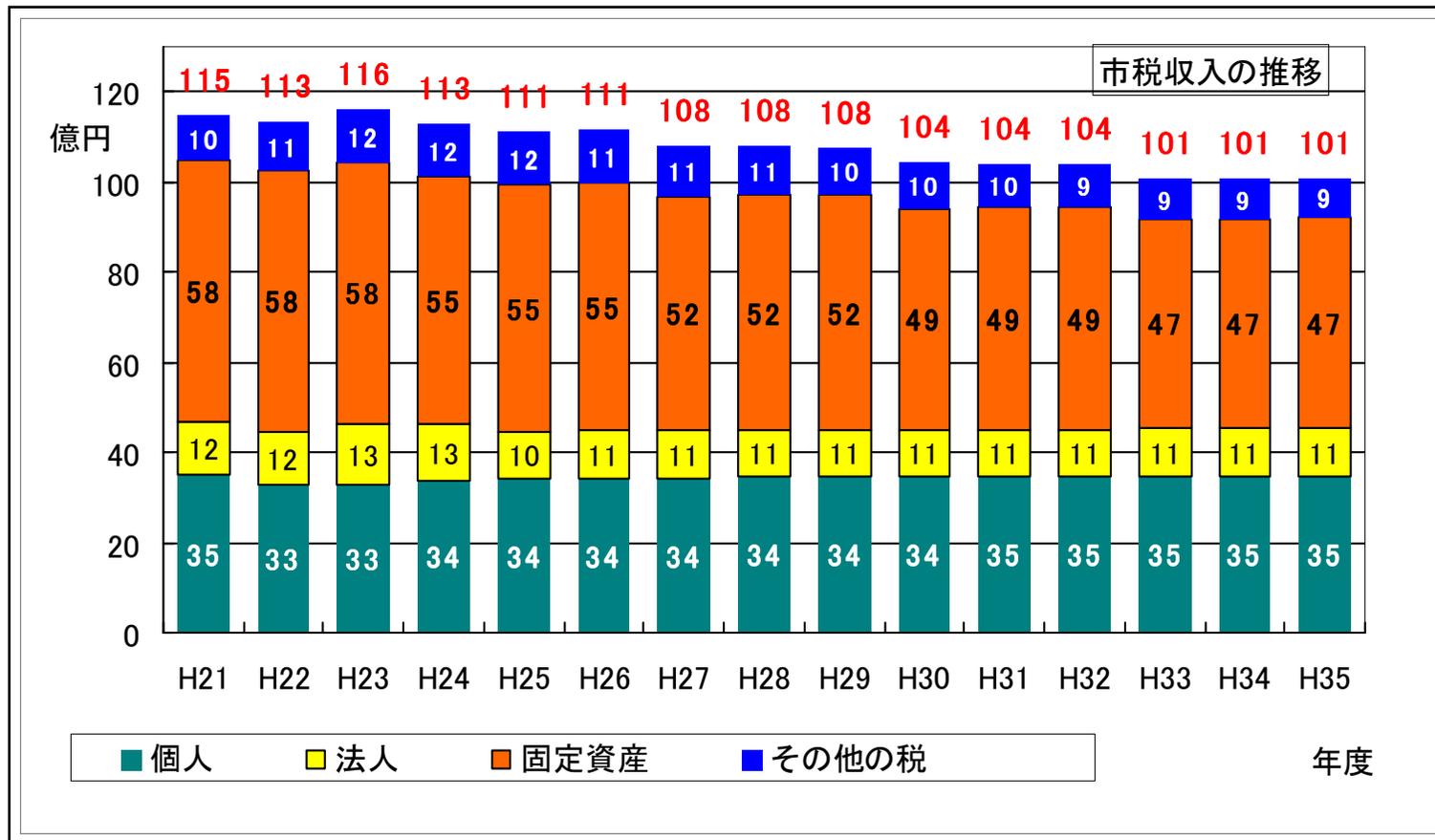
- 実質収支 14億6,000万円(本市過去最大)〔9億7,200万円〕
- 経常収支比率 86.0%(2位←〔1位〕/14市) 〔83.5%〕
- 実質公債費比率 11.9%(7位←〔8位〕/14市) 〔13.3%〕
- 将来負担比率 139.3%(11位←〔12位〕/14市) 〔156.5%〕



➤ 黒字決算は確保したが、財政構造はむしろ硬直化、後年度負担も依然高水準。(数値は、いずれも早期健全化基準以下)

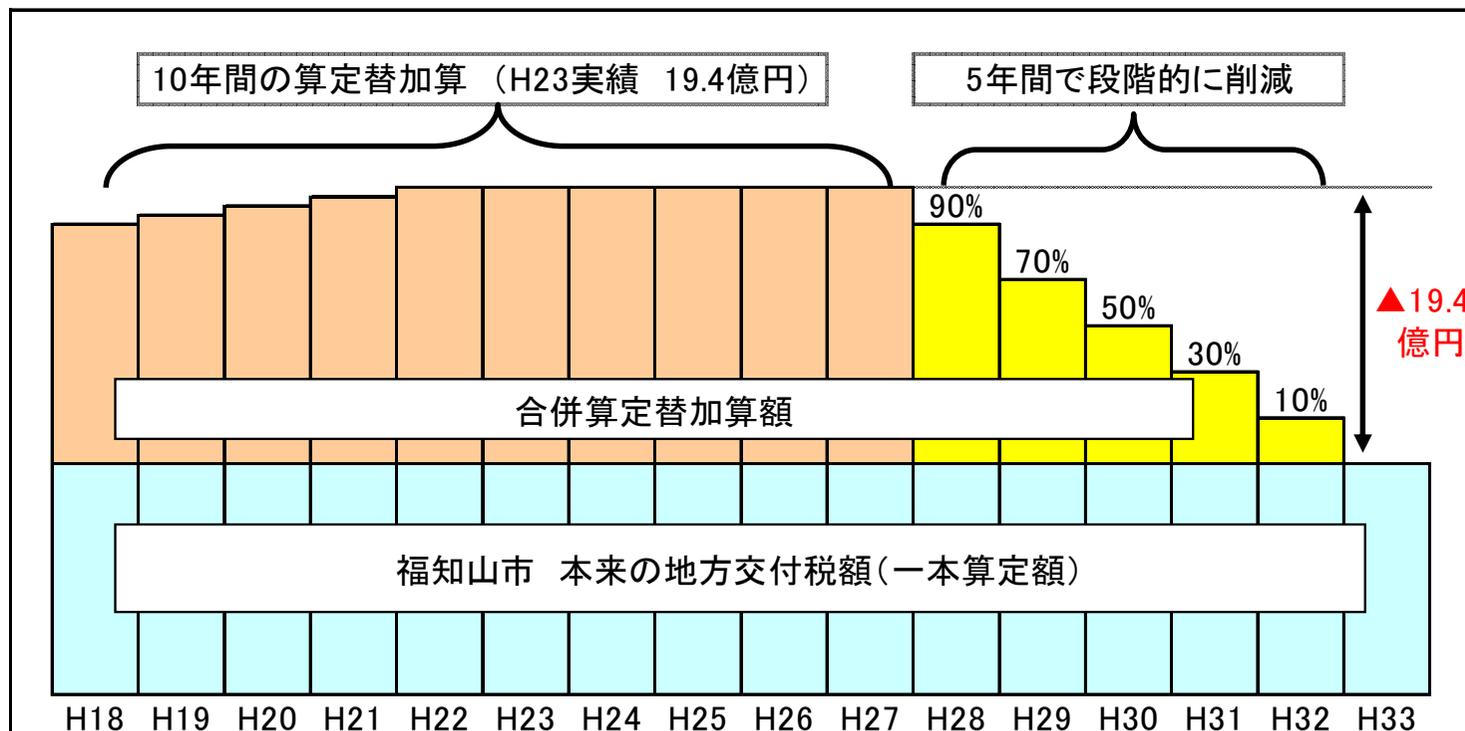
2 中期財政見通し①

- 法人税率の引き下げ、人口減少と地価の下落により市税収入は平成35年度までに12億円減少(概ねH24法人市民税収入見込額に相当する額)。



2 中期財政見通し②

- 合併算定替の普通交付税の特例措置19.4億円(H24影響額)が平成28~32年度にかけて段階的に削減される(H23黒字もこの特例措置の恩恵)。



● **歳入**

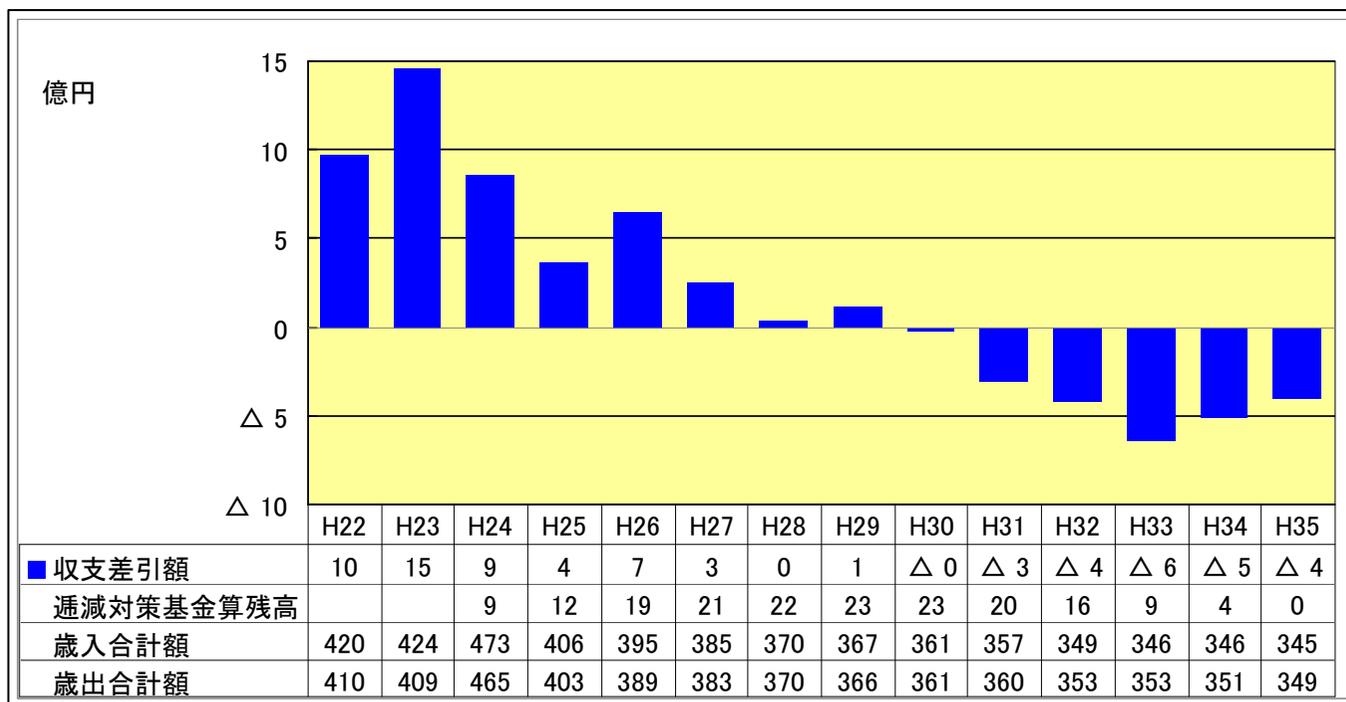
○市税、普通交付税等一般財源は減少の一途。

● **歳出**

○高齢化の進展、扶助費も年々増加傾向 ○大型事業に伴う公債費の増加(H28まで)

○土地開発公社解散に伴う財政負担(基金取崩20億円と三セク債30億円)

限られた
政策資源を
最大限活用



H30以降赤字に転落、合併算定替逡減対策基金を活用してこれを回避

3 予算編成の基本的な考え方

第4次総合計画後期計画の着実な推進

- 北近畿をリードする創造性あふれるまち、人にいちばん優しい子育て・環境都市の実現
 - 市民協働でつくるコミュニティー豊かな自立したまち
 - 定住と交流の活力あるまち
 - 人と自然が調和しすこやかに安心して暮らせるまち
 - 明日を担う創造力あふれる人材育成のまち

第5次行政改革の断行

- 財政健全化の推進
- 真に必要とする事業のみを厳選して実施
- 施策の選択と集中を図り、限られた財源と人員を最大限活用

国・府の情勢を的確に把握し制度変更等に適切に対応

施策の立案・実施に市民の参画を

1 第4次総合計画後期計画の着実な推進

北近畿をリードする創造性あふれるまちの実現

- 市民協働でつくるコミュニティ豊かな自立したまち・定住と交流の活力あるまち・人と自然が調和しすこやかに安心して暮せるまち・明日を担う創造性あふれる人材育成のまちに沿った事業を展開する。

基本理念①

市民協働でつくるコミュニティ豊かな自立したまち

- みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり
- 地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり

基本理念②

定住と交流の活力あるまち

- 人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり
- 地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり

基本理念③

人と自然が調和しすこやかに安心して暮せるまち

- 地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり
- 人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり

基本理念④

明日を担う創造力あふれる人材育成のまち

- 魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり

◎ 重点施策—市長マニフェストの積極展開 『市民をど真ん中に』

➤ 自然との共生で災害に強い安心安全なまちづくり

○防災・消防・救急の強化 ○再生エネルギー など

➤ 個性が輝く未来あるまちづくり(オンリーワンの子育て環境づくり)

○妊活の促進 ○子育て支援の充実 など

➤ 改革進め府市協調で健全な行財政づくり

○市民協働の推進 ○行政改革の断行 など

➤ 雇用が進んでまちの活気づくり

○農林商工業の振興 ○雇用の確保 など

➤ ふるさとでいつまでも幸せ実感 福祉と文化のまちづくり

○保健・医療の充実 ○高齢者福祉・障害者福祉 など

2 第5次行政改革の断行 ～ 財政健全化の推進 ～

= 持続可能な財政構造の確立 =

- ①行政評価を活用した事業のスクラップ
アンドビルドと行財政のスリム化の徹底
- ②特別会計・企業会計の経営健全化
- ③財源確保対策

① 行政評価等を利用した事業のスクラップアンドビルドと行財政のスリム化の徹底

スクラップアンドビルド

行政改革の効果を市民サービスへ還元

- 新規事業を創出する場合は、原則として既存事業を見直して、財源を捻出する。
- 施策の優先順位付けにより、事業の選択と集中を行う。

行財政のスリム化

- 継続事業については、10年以上は廃止または統廃合、5年以上10年未満は見直しを大原則とし、必要性、効率性等を再検討する。
- 事業効果の薄い事業は廃止、目的などが同一もしくは類似した事業は積極的に整理統合する。
- イベントは、統廃合を促進し、合同開催や部を超えて効率的に運営する。
- 事業内容を精査し、地域参加・企業参加などによる開催方法の導入、経費の参加者負担等、行政主体から市民主体へと運営方法の転換を図る。
- 時間外手当の縮減を引き続き図る。
- 緊急雇用対策事業は廃止

② 特別会計・企業会計の健全化

- 特別会計・企業会計においては、使用料の適正化、事業の効率化及び健全経営に努めるとともに、一般会計からの繰出金を最小限に留める。
- 土地区画整理事業は、土地売却を鋭意努め、早期に赤字解消を図る。
- ガス事業会計は民間譲渡し、清算事務のみ期間限定で計上。

④ 財源確保対策

1 不要財産の売却

- 未利用財産の実態把握を行い、積極的に売却処分を行うことにより財源確保を図る。

2 市有財産の積極的活用

- 市有財産の積極的な活用に努める。

3 広告収入の積極的確保

- 市が保有する財産・資源（公有財産・物品及び印刷物等）を広告媒体として提供し積極的な財源確保を図る。媒体の見直しも検討。

4 市税等の収納率向上

- 市税収入をはじめ各種債権の収納率の向上を図る。

5 ふるさと納税の強化

- 市外から福知山市に着目し応援する人々の参画を促すため、受入枠を拡充強化

3 国・府の情勢を的確に把握し制度変更等に適切に対応

- 国府の予算、地方財政対策、一括交付金、社会保障・税一体改革など国及び府の制度改革等について、情報収集を徹底し、それらの動向に留意しながら、制度に適合し付加価値を付けるような事業を積極的に創出する。
- 事業の着実な推進に向けて、国府の財源措置等について、積極的に働きかけをする。
- 国の公共事業費などの政策経費について、前年度に比べて90%の要求基準となっているので、これを踏まえ現実的な要望を行う。
- 国府制度の既存制度の見直しにより、事業の特定財源が削減される場合は事業内容を精査する。
- 地方分権改革による権限委譲等の情報収集を進めるとともに、庁内の連携を図る。

4 施策の立案・実施に市民の参画を

- 平成24年度若者参加型「まちの魅カアップ アイデア発見」事業の施策化など
- 「市民をど真ん中に」ー市民発意の協働事業を別枠計上
- 編成過程の一部をホームページで公表